

令和6年度 授業改善推進プラン教科別計画【理科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」 ・ 「どのように」 ・ 「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1年	西野三上	①授業への関心・意欲はあるが、ノートを取ることが苦手で、集中が続かない生徒がいる。 ②実験への関心・意欲があり、意欲的に取り組むが、実験結果に基づいた思考・考察が苦手な生徒がいる。 ③身近な現象や生物への興味はあり、発言も多いが、小数・分数などの基本的な計算ができない生徒がいる。	①視覚に訴えかけるためICTを積極的に活用し、興味や関心を高めさせ、分かりやすい板書を心がける。 ②身近な現象の事例紹介や、演示実験を通して、科学的な現象に興味を持たせる。また、実験の結果から考察を話し合わせ、発表させるような時間を設ける。 ③基本的な計算練習の問題を取り入れた問題を、授業の中で行うようにする。	①授業の目標を明確に示し、「わかった」という達成感を持たせる授業を展開する。 ②実験や観察結果から考察を考えさせることを継続的にを行い、科学的思考力を高める。実験レポートから生徒の科学的思考、判断の力を測り、授業に反映していく。 ③授業の振り返りや復習と確認を毎時間行い、基本的事項の定着を図っていく。
		①授業への関心・意欲はあり、ノートをとる生徒も多いが、板書をとるだけで完結してしまう。 ②実験への関心・意欲があり、意欲的に取り組むが、実験結果に基づいた思考・考察が苦手な生徒がいる。 ③化学式、化学反応式等、学習はするものの、定着が弱い。	①視覚に訴えかけるためICTを積極的に活用し、身近な事例と関連付けながら板書を取らせる。 ②身近な現象の事例紹介や、演示実験を通して、科学的な現象に興味を持たせる。また、実験の結果から考察を話し合わせ、発表させるような時間を設ける。 ③モデルを活用しながら、原子が組変わる様子をイメージできるようにする。	①授業の目標を明確に示し、「わかった」という達成感を持たせる授業を展開する。 ②実験や観察結果から考察を考えさせることを継続的にを行い、科学的思考力を高める。レポート等を用いながら、自分の実験結果と自分の考察、参考文献との違いをはっきりさせながら文章としてまとめる活動を積極的にを行う。 ③授業の振り返り、演習の数を増やし、プリント配布を積極的にを行い、達成感を感じられる授業を展開する。
		① 授業への関心・意欲はあるが、集中が続かない生徒がいる。 ② 観察・実験など、意欲的に取り組むが、結果をもとに考察することにより苦手意識をもつ生徒が多い。 ③ 「運動」の単元で時速から分速に直したり、秒速に直したりする計算やグラフの理解の不足している生徒もいる。	① 生徒の興味・関心が高まる実験や教材の提示を行う。 ② 一問一答的な質問だけでなく、「なぜそうなるか」といった科学的思考を要する質問も行う。 ③ 既習内容の復習をこまめに行い、繰り返し確認することで生徒の理解を深める。また演習を通して、基本的な計算や化学式などの理解の徹底を行う。	① できるだけ実験・観察を多く取り入れ、興味・関心を高めるとともに、グループ活動を通して考えを深めたり協力して課題を解決したりする能力を養う。 ② レポート指導を継続して行うことにより、実験結果から考察した内容を文章で表すことを習慣づけていく。 ③ 授業の振り返りや演習の数を増やし、できたという達成感を感じられる授業を展開していく。
3年	一条三上			